

展 示 1.10～1.30

アーティスト・サポート・プログラム enoco [study?] #3

湯川洋康・中安恵一『流暢な習慣』

[トップ](#) >> [イベント](#) >> 湯川洋康・中安恵一『流暢な習慣』

2013年にスタートし、第3回目を迎えるアーティスト・サポート・プログラムenoco [study?]。公募で選出されたアーティスト、湯川洋康・中安恵一が、enoco館内のアトリエを拠点に制作した作品を展示します。



湯川は服飾業界に身を置き、中安は現役の歴史学者でもあるという異色のユニットである2人。2015年10月より、「習慣、阻害、彫刻」というキーワードをテーマに、アンケートやフィールドワークを行い、いくつかの慣習化した行為や場所に注目しながらリサーチの一環として動物園に通う、募金箱を設置する、あるいは一時的に「仕事」として空き缶を拾ってくれる人を募る…などのユニークな試みを通して大阪の都市部を舞台にモチーフの収集と考察を重ねながら制作を行いました。

現代社会において複雑に記号化されたさまざまな事象の「物質的」側面を用いて、「習慣はいかにして社会を成立させるのか、また社会はいかにして習慣を再生産するのか」という問いに対するひとつの回答を、彫刻作品として表現します。

<enoco [study?] とは？>

enoco [study?] は、公募で選出された若手アーティストの活動をサポートしながら、「社会や他者との関わりを通して、アートの可能性を拓（ひら）くこと」にまつわるさまざまな問いを投げかけ合い、[study]（＝能動的に勉強する・検討する・観察する・練習する）していくプログラムです。

入選アーティストはenoco館内のアトリエを拠点にリサーチやワークショップを行い、約3ヶ月のプログラム実施期間内に制作した作品を展覧会という形で発表します。

■公募・審査については[こちら](#)

展覧会情報

会期：2016年1月10日（日）～1月30日（土）
 時間：11:00～19:00 月曜休館
 会場：江之子島文化芸術創造センター4階ルーム2ほか、入場無料

主催：大阪府立江之子島文化芸術創造センター

協力：大阪市立天王寺動物園、NPO法人釜ヶ崎支援機構、NPO法人「こえとことばとこころの部屋」COCOROOM

<お問い合わせ先>

大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco]

〒550-0006 大阪市西区江之子島2丁目1番34号

Tel:06-6441-8050/Fax:06-6441-8151

Mail:art@enokojima-art.jp

http://www.enokojima-art.jp

関連イベント

オープニングイベント

2016年1月10日（日）17:00～

アーティストによるギャラリートークと、作品を囲みながらの簡単なパーティーを開催します。

どなたでもご自由にご参加ください。

（予約不要・参加費無料）

アーティスト・トーク

2015年1月30日（土）17:00～

展示作品のコンセプトやこれまでの制作活動について、アーティスト自身が詳しく解説します。

（予約不要・参加費無料）

アーティスト情報

<ステートメント>

たとえば、ギリシア神話でイカロスは、蠟で固めた鳥の羽根によって自由な飛行能力を得たが、太陽に近づきすぎたため蠟が溶けて墜落死した。人類の過信と傲慢さの教訓である。

きっとイカロスの羽根は、よほど身体に馴染んでいた。

そのとき、次第に不安や臆病さは取り除かれ、彼の飛行は流暢になるのだ。

さて、我々人類はだいたいの習慣に対して無自覚である。

とは言え、あらゆる習慣は社会と強くあるいは弱く結びつき、その関係性の中で行われる。

他者や社会の様子を窺いながら、あるいは反映しながら、

もしくは教育付けられながら習慣を身につける。

はたして、私たちの習慣は如何にして社会を形作っていくのか、

そして社会は如何にして我々に習慣を埋め込むのか。

「免疫をつけるために赤ちゃんの頃に動物園に連れて行く」、

「空き缶は洗ってリサイクルの日に捨てる」。

私たちはここ大阪に横たわる習慣を集めた。

たとえばこのようなアンケートの回答は、私たちの制作の動機となった。

私たちは、こうして集めたメディウムやコンテキストの断片からなる彫刻を作る。

流暢さへの阻害によって「流暢な習慣」はあるほつれや違和感を生み出す。

それは本来的な臆病さをふと思い返す引き金になる。



参考画像①「豊饒史のための考察」（2015）※写真提供：川崎市岡本太郎美術館



参考画像②『漂い、刻まれ、漂う偶然』（2015）

湯川洋康・中安恵一 プロフィール

ともに1981年度兵庫生まれ、2012 年結成。大阪を拠点に活動する。習慣・歴史・習俗にまつわる綿密なリサーチに基づき、現代社

会に散在するさまざまな事物の関係性を彫刻化する作品を制作。

主な展覧会として、「羽根を休めるハビトゥス」（2015年,中之条ビエンナーレ 2015, 群馬）、「漂い、刻まれ、漂う偶然」（2015年,鳥取藝住祭, 淀江 ）、 「船は港に寄せられて 港は船に選ばれる -便りは届く-」（2014年,Kapo gallery, 金沢 ）ほか。2015年、第18回岡本太郎現代芸術賞入選。

<http://yukawanakayasu.net/>



サイトポリシー・ プライバシーポリシー	> enocoについて > 事業紹介 > フロアガイド > レンタルスペース	> お知らせ・プレスリリース > メルマガ登録 > ニュースレター > お問い合わせ > アクセス	ツイート
指定管理者			
バナー広告募集			

